

発行 豊頃町
〒089 - 5392
中川郡豊頃町茂岩本町 125 番地
☎ 015(574) 2216
発行日 2025 年 5 月 30 日
編集 豊頃町企画課広報情報係

今月の表紙



昨年に引き続き魚つきの森植樹祭が行われました。参加した皆さんは、事前に用意された目印を基に、根っこや石などがあって掘り出すのに苦労しながらも、大きく育つことを願って、カラマツの苗を植えていました。

役場などの連絡先

- ◆役場
☎(574) 2211(代表)・FAX(574) 3750(総務課)
- ◆各課等(ダイヤルイン)
- | | |
|------------|-------------|
| 総務課 | ☎(574) 2211 |
| 住民課 | ☎(574) 2213 |
| 福祉課 | ☎(574) 2214 |
| 施設課 | ☎(574) 2215 |
| 企画課 | ☎(574) 2216 |
| 産業課 | ☎(574) 2217 |
| 農業委員会 | ☎(574) 2218 |
| 議会事務局 | ☎(574) 2222 |
| 教育委員会(教育課) | ☎(579) 5801 |
| (図書館) | ☎(579) 5802 |
| (総合体育館) | ☎(574) 2480 |
- ◆支所・出先機関・町内関係機関
- | | |
|------------|-------------|
| 大津支所 | ☎(575) 2021 |
| こどもプラザとよころ | ☎(574) 3931 |
| 保健センター | ☎(574) 3141 |
| 給食センター | ☎(574) 4600 |
| 社会福祉協議会 | ☎(574) 3143 |
| ココロコテラス | ☎(578) 7202 |
- ◆地域情報通信基盤施設の故障受付窓口
NTT 東日本データセンタ ☎ 0120(860) 023
[24 時間 365 日受付]

ホームページ

豊頃町 <https://www.toyokoro.jp/>
豊頃町社会福祉協議会 <http://toyokoro-shakyo.com/>

豊頃町の人口と世帯

4 月 30 日現在(前月比)
住民基本台帳に基づく

人口	2,829 人(ー 4)
男	1,389 人(ー 3)
女	1,440 人(ー 1)
世帯	1,450 世帯(ー 5)

町内の交通事故

交通事故死ゼロ 2,451 人
令和 7 年 1 月 1 日
～ 5 月 10 日(前年比)

発生	0 件(ー 1)
死者	0 人(ー 0)
傷者	0 人(ー 1)

目次

CONTENTS

大津地区津波住民避難訓練が行われました

広報とよころ

- 04 特集 豊頃町の台所事情
06 はるにれは見ていた
08 豊頃町町制施行 60 周年記念 お笑いライブ in とよころ ほか
09 健康だより「歯と口の健康週間」
10 国民健康保険税の税率について
11 税金は納期内に納めましょう
12 令和 7 年度介護保険料のお知らせ
13 後期高齢者医療制度のお知らせ
14 国民年金からのお知らせ
15 釧路弁護士会おなやみごと相談
16 町民プールからのお知らせ ほか
17 空き家・空き地利活用事業補助金 - 駐在だより
18 落語会のお知らせ ほか - 町民文芸
19 みんなの図書館

社協だより

- 20 表紙「春休みキッズボランティア」
21 令和 7 年度事業計画
22 令和 7 年度しゃきょう収支予算
23 キッズボランティア ほか
24 ささスマ勉強会 ほか
25 社会福祉協議会の公式 LINE ができました ほか
役場だより

- 26 INFORMATION ◎目次あり
主な施設の行事予定 ほか

裏 とよころカレンダー

高田公平委員に辞令交付



高田芳行公平委員の辞令交付が役場 2 階応接室で行われました。高田公平委員の任期は令和 7 年 5 月 12 日から令和 11 年 5 月 11 日までです。



①

- ①津波緊急避難場所
に集合している様子
②津波救命艇に避難
した様子
③サイレン吹鳴後、漁
港から出港する漁
船の様子
④漁業取締船ほくと

③



④



②

大津地区津波住民避難訓練が行われました

防災思想の普及を図る

5 月 15 日、大津地区津波住民避難訓練が、大津漁業協同組合(中村純也組合長)や大津地域づくり協議会(前川剛司会長)、大津地区行政区、豊頃消防署、豊頃消防団、北海道開発局帯広開発建設部、北海道(漁業取締船ほくと、十勝総合振興局)、陸上自衛隊、池田警察署等の関係機関の協力のもと、実施されました。

この訓練は、マグニチュード 8 以上クラスの大津波(震度 6 強)が発生し大津波警報が発令されたことを想定したもので、大津波警報を知らせるサイレン吹鳴後、避難場所である国道 336 号に面して設けられた「津波緊急避難場所」や大津市街区に設置された「津波救命艇」へ避難するものです。

当日は、大津波警報を知らせるサイレン吹鳴後、地域住民の方々は自家用車や乗り合いで津波緊急避難場所へ避難し、大津保育所や大津小学校の子どもたちも教職員らと共に津波緊急避難場所まで同様に避難しました。また津波救命艇には 11 名の住民が避難し、ドアの開け閉めや備蓄品の確認、トイレの確認、救命艇の上に梯子で昇る体験などを行いました。救命艇に避難した方からは「座って足を伸ばせてよかった」「揺れが少ないのは嬉しい」などの声がありました。

大津漁港では大津漁業協同組合主催の沖

出し訓練が行われ、大津波警報を知らせるサイレン吹鳴を合図に参加した漁船は次々と出港し、沖合到着後、組合との無線通信を実施しました。

また、大津地域づくり協議会による炊き出し訓練が実施され、訓練参加者にカレーライスが振る舞われました。

今回の参加者は、関係者を含め約 200 名で、それぞれ避難経路や持ち物の確認などを行い、訓練の大切さを改めて実感した様子でした。

避難訓練完了後、住民の皆さんは大津コミュニティセンターに集まり、「ほくと」に配備されているドローン飛行訓練を見学しました。ドローンは A1 により人や車などを感知してモニターに表示することができ、どこに人がいるのかが空からわかりました。またドローンにスピーカーが取り付けられており、録音した音声や操縦者のリアルタイム音声が届けることができ、感嘆の声が上がっていました。

「町」として防災対策を

今回の避難訓練を終えて、按田町長は「様々な防災対策をしており、ご協力いただいているなかで、何かあっても意識的に行動してもらうことが第一である。今までの避難訓練は津波の被害を想定し大津地区のみでの訓練だったが、これからは豊頃町全体として防災対策をしていきたい」と話しました。